

兵道けんじニュース

発行者 公明党甲府市議会議員

2014. 春

兵道 顕司

VOL. 1 8

甲府市中村町 1 5 - 6

TEL/FAX055-237-9529

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/>

2月14日～15日、観測史上類を見ない記録的な豪雪に見舞われ、甚大な被害を受けました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

今回の災害を通して、自助、共助が重要ということが改めて分かったところです。

普段から「力を合わせて乗り越えられる」地域づくりにこれからも力を注いでいきます。



3月議会代表質問に登壇！

代表質問ではいくつもの実績を上げることができました。

1 産後育児支援の取り組みについて

出産直後の母親への支援として、一時的に休息したり必要な育児相談を受ける場を確保するため、県が設置する産後ケアセンターと連携し、妊娠から出産、育児までの一貫した産後育児支援の取り組みが今後実現します。

核家族化が進む中で、出産への不安を少しでも和らげ、なおかつ出産直後のレスパイトケアと必要な育児相談サービスを提供する

産後ケアセンターは、これまで手薄だった出産直後の母親への支援を行うことにより、少しでも生み育てやすい環境を実現するものとして、注目を集めています。



3月議会代表質問～続き～

2 DV防止基本計画の策定について

依然後を絶たない配偶者からの暴力。最近では交際相手からの暴力も深刻な社会問題化しています。この間、法律も改正になり、身近な市町村でもDV防止の基本計画や相談センターの設置が要請されています。

DVはやがて児童虐待につながり、また親族にまで不安に陥れることから、その根絶を目指して計画的に取り組む必要があります。DVも児童虐待も大きな「人権侵害」といえます。

代表質問では、こうしたDV防止に向けた基本計画の策定を強く迫りました。特に甲府市は、男女共同参画都市宣言を昨年6月に行っています。

提言を受け、市では来年度基本計画の策定を明言しました。

3 いきいきサロンへの支援について

団塊の世代が全て75歳以上となる「2025年問題」を見据え、住み慣れた地域で医療、介護、住まいのサービスを一体となって提供するための「地域包括ケアシステム」を地域ごとに創ることが今後大きな課題となります。

いきいきサロンは高齢者の引きこもりを防ぐための大きな資源ですが、今年の10月で当初予定された5年が経過します。

地域の実情を訴える中で、今後の支援継続について求めたところ、当面26年度いっぱいの継続を認めてもらうとともに、27年度以降について前向きに検討するとの答弁をいただきました。

4 大規模災害に備えた取り組みについて

今回の豪雪災害で、陸の孤島化したことを踏まえ、改めて「自助」「共助」の再確認が求められました。と同時に、情報収集と迅速的確な「公式情報」の提供について、今後の検証を求めました。

また、貢川団地の見事な対応を紹介し、日頃の危機意識を持った防災訓練の重要性、そして一人でも多くの方が防災リーダー研修を受けることの重要性を再確認しました。

貢川団地の事例は、今後市役所1階の防災コーナーで紹介されることとなり、また、防災研修などで事例として活用されることとなりました。

3.11後の公明党の訴えが生きています。